



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和6年11月11日) 第23号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## 令和6年度合唱コンクール(文化週間最終日)

11月8日(金)、やぶ市民交流広場 YB ホールをお借りして令和6年度八鹿青溪中学校合唱コンクールを開催しました。この合唱コンクールに向けてどのクラスも懸命に練習を続けてきて、八鹿青溪中学校の校舎内に美しいハーモニーが響き渡っていましたが、もうその歌声を聴けなくなるかと思うと寂しさにいっぱいになります。



3年生学年合唱



全校合唱

### 【審査結果】

最優秀賞 3年1組 優秀賞 3年2組 優良賞 2年1組

### 【学校長講評】

1年生は、体育祭の時にも感じましたが、ずいぶん中学生らしくなったものだと思います。私も過去に中学1年生を担当したことがあります。私のクラスでは、ここまで歌えなかったなあという今回の1年生の歌声でした。

2年生は、1年生であった昨年度を思い起こすと、この1年でこんなに合唱が上手になれるのかという驚きを感じさせる歌でした。特に、男声がよく聞こえてきていましたよ。3年生に進級する来年度が本当に楽しみです。

3年生の歌は、“やっぱり3年生だなあ、やっぱり3年生だなあ”と何度もつぶやきながら聴いていました。多くは語りません。“やっぱり3年生だなあ”という言葉に私の3年生に対する気持ちが凝縮されていると思ってください。思えば、あと数ヶ月で皆さんはこの学校を卒業していきますが、可能なことならば、「卒業延期」を宣言したいくらいです。それは叶わぬ夢ですが、今の正直な心境です。

さて、合唱の出来映えもさることながら、各学級代表がしてくれたあいさつが堂々としたもので見事でした。校長先生にはよく分かります、人前で話をするのはたいへんなことですね。また、指揮者の背中からは“なんとかいい歌に仕上げよう”という気持ちが強く感じられました。ただ手を振っているだけのいい加減な指揮をしていた人はひとりもいませんでした。さらには、伴奏をしてくれた人のこれまでの努力にも敬意を表します。きっとずいぶんの時間を伴奏の練習に割いたことでしょうし、ここ数日はかなり緊張もしたことでしょう。でも、この緊張感を経験しながら人は強くなっていくのです。各学級代表、指揮者、伴奏者に大きな拍手を送りたいです。



杉本利奈氏・中嶋由紀氏

サキソフォン&ピアノ演奏デュオ